



管理課にて、慣れないパソコンに悪戦苦闘のヘリドッグ太くん。
同課では、約1,200人にのぼる病院職員の管理にあたっています。

診療科紹介

Vol.27 精神科

最新医療紹介

遺伝性乳癌に関して

TOPICS

- ・令和元年度 諫早医師会との連絡協議会
- ・病院機能評価に向けての
キックオフミーティング開催
- ・第105回日本消化器病学会総会
に参加して
- ・優秀演題賞受賞報告(九州外科学会)
- ・院内ボウリング大会

夏の医学生見学会のお知らせと

令和2年度初期研修医採用試験のご案内

看護部だより Vol.12

地域医療連携室からのお知らせ

行事予定

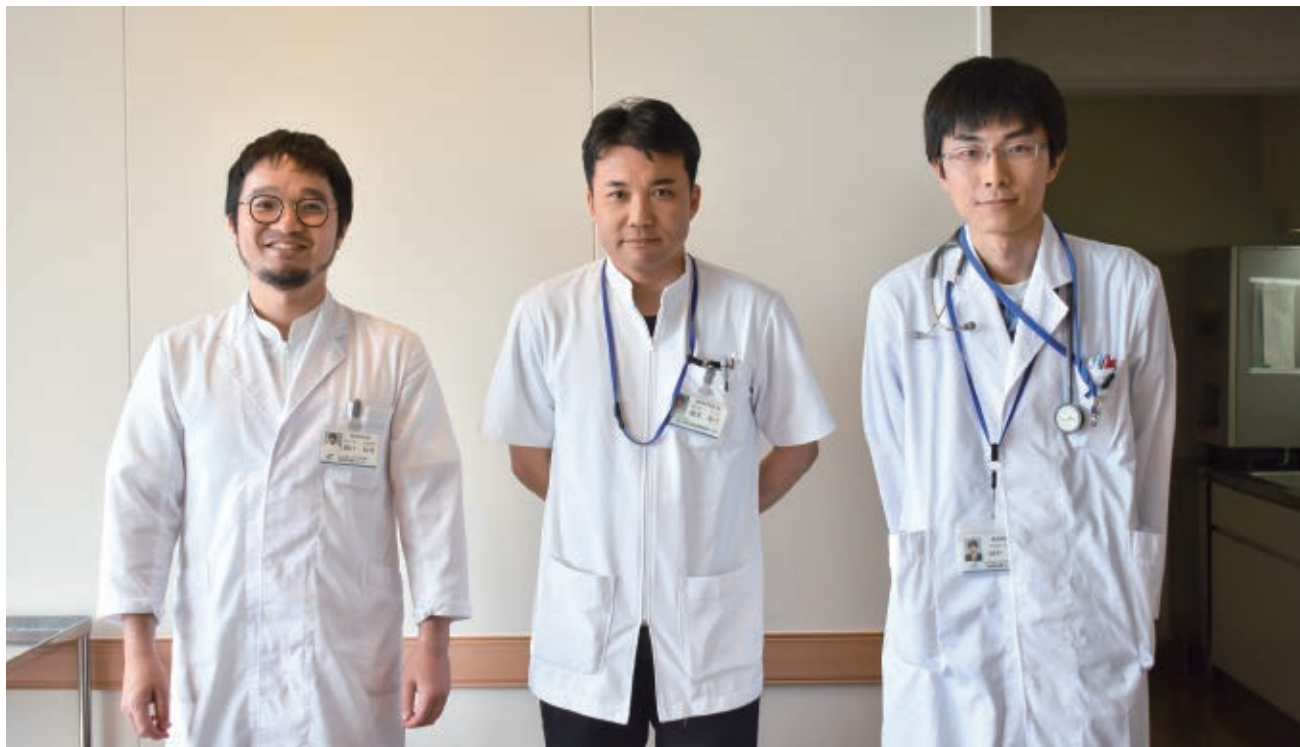
SENSAL ごはん

長與 専齋 (1838年～1902年)

大村藩御殿医の家系に生まれる。緒方洪庵の適塾に学び、福澤諭吉の後を襲い塾頭となる。初代衛生局長として我が国の近代医療制度の確立に尽力した。衛生という言葉をはじめ採用したのも専齋である。専齋の生家は「宜雨宜晴亭」と呼ばれ、長崎医療センター敷地内に移築されている。

診療科紹介 Vol.27

精神科



はじめに

日本国内において精神疾患で通院・入院をしている患者さんの数は40人に1人、生涯を通じて5人に1人の方が精神疾患にかかるとも言われており、精神疾患は非常に身近な、誰でもかかりうる病気であることが分かります。

入院診療

当科の特色として、身体疾患と精神疾患を合併されている方の治療を行う「リエゾンセンター」として病棟の運営を行っています。（入院対象となる身体疾患は原則として急性期もしくは慢性疾患の急性増悪などに限られます。）病棟スタッフは勿論、他診療科の先生方や精神保健福祉士、臨床心理士と協働して患者さんの治療や支援にあたっています。

図1は昨年1年間で当科に入院された患者さんの精神科疾患別内訳になります。それぞれの項目の主なものは、F0では認知症やせん妄、F1ではアルコールや薬剤に関連した精神疾患、F2では統合失調症、

当院精神科にはスタッフ2名とレジデント1名が在籍しており、主に身体の病気（骨折や肺炎、がんなど）にかかれた精神疾患をお持ちの方の治療に日々奔走しております。

F3ではうつ病や躁うつ病などがあります。図2は少し古いデータですが、厚生労働省のホームページに掲載されている全国の精神科病棟における精神科疾患別内訳です。このうち平成23年のデータのみを円グラフに示したものが図3になります。特に長期入院が問題となりやすい統合失調症の患者さんが全国的には半数以上を占めているのに対して、身体合併症の急性期治療を担っている当科では3分の1程度となっています。一方で認知症や知的障害の方のうち精神科的な治療や支援が必要な方の受け入れを行っている為、これらの疾患の割合は高くなっています。

長崎医療センター精神病床入院患者の疾病別内訳（2018年）

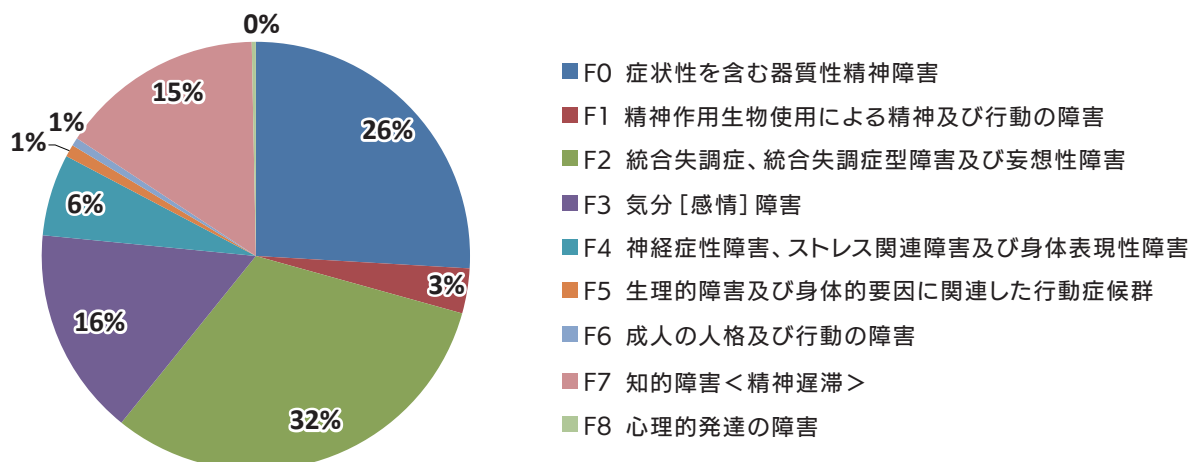


図1

精神病床入院患者の疾病別内訳

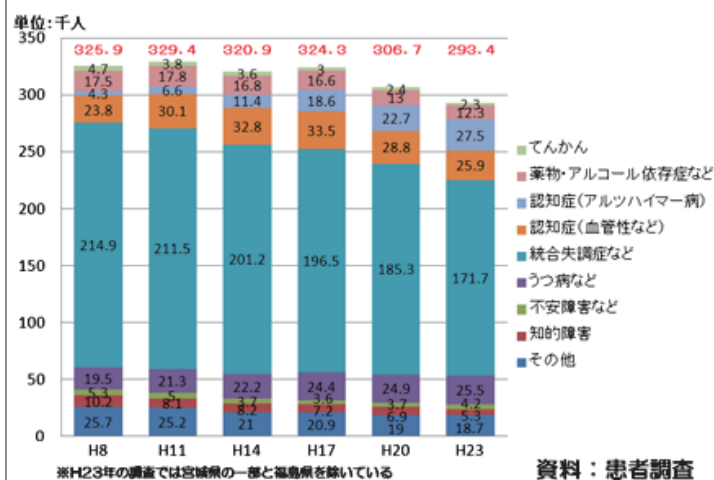


図2

(厚生労働省HPより引用)

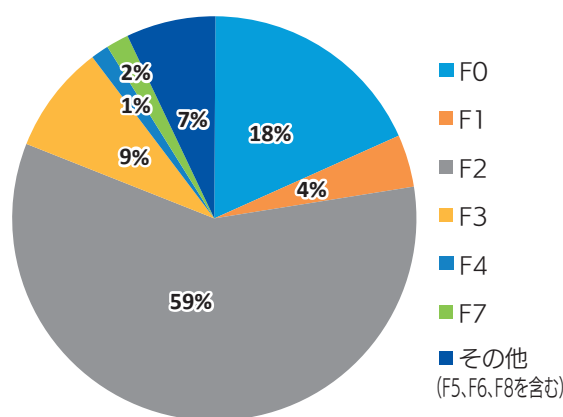
平成23年
精神病床入院患者の疾病別内訳

図3

外来診療

外来では精神疾患全般の診療を行っております。より専門性の高い治療が必要な場合など、治療上の有益性が上回ると判断される場合には他院へのご紹介をさせて頂いております。

緩和ケア

緩和ケア外科医師、専門看護師、薬剤師、栄養士などで構成される緩和ケアチームの一員として、病気（主にがん）に伴う精神症状の治療を行っています。さらに多職種と連携し、精神面のみならず身体面、社会面などの全人的苦痛の緩和を目指し活動しています。

電気けいれん療法

麻酔科の先生方と連携して、より安全な環境下で電気けいれん療法を行っています。電気けいれん療法の適応となる病態では、誤嚥性肺炎や低栄養状態などを合併している事が少なくないため必要に応じて各診療科の先生方にも協力を得ながら治療を進めています。

遺伝性乳癌に関して

外科医長 山之内 孝彰



1.はじめに

乳癌は、現在の日本で女性が罹患する癌の中では最も高頻度であり、11人に1人が生涯で乳癌に罹患します。このうち、遺伝性乳癌は5~10%であり、原因遺伝子の半数は癌抑制遺伝子である *BRCA1/2* であると報告されています。遺伝性乳癌卵巣癌症候群 (HBOC) は *BRCA* 遺伝子の生殖細胞系列変異により起こる単一遺伝子疾患であり、*BRCA1* または *BRCA2* に病的変異を有する女性の場合、70歳までの乳癌罹患リスクは、それぞれ57%、49%、卵巣癌罹患リスクは、それぞれ40%、18%と一般女性の罹患リスクよりはるかに高いことが知られています。また、変異が子に引き継がれる確率は50%であり、生涯にわたる癌発症リスクと向き合うだけでは無く、遺伝の問題に向き合う必要が生じます。

2. *BRCA1/2* 遺伝子変異と発癌

DNAは内的・外的要因により日常的に様々な損傷を受けていますが、正常な細胞ではDNAを修復する機構が備わっています。このうち、*BRCA1/2* タンパク質は、DNA二本鎖切断の相同組換え修復に働きます。*BRCA* 遺伝子変異保有者では一方の遺伝子には変異があるため、もう片方の遺伝子に後天的に変異 (体細胞変異) が起こると、DNA修復不全のため遺伝子異常が蓄積しやすくなり、癌化につながります。

3. *BRCA* 遺伝子変異陽性乳癌に対する新しい治療

DNA一本鎖切断の修復にはPARP [poly (ADP-ribose) polymerase] が塩基除去修復に働きます。*BRCA* の二本鎖修復とは相補的に働き、一本鎖切断が修復できなかった場合二本鎖切断へと変化し、*BRCA* 正常細胞では二本鎖切断の修復が行われます。このような関係にあるPARPと *BRCA1/2* 双方が阻害されることで細胞が死に至ります。このように2つの遺伝子 (タンパク質) のどちらか一方に異常がある場合は影響が無いが、双方に異常がある場合に致死になる状況を「合成致死」と呼び、PARP阻害剤は合成致死を利用し、癌細胞特異的な細胞死を誘導する薬剤です。すなわち、PARPが阻害されると、一本鎖切断が修復されず、二本鎖切断が形成されます。*BRCA1/2* の機能が欠損している癌細胞では、二本鎖切断の修復も行えないため細胞死

に至ります (図1)。PARP阻害剤であるオラパリブはHER2陰性 *BRCA* 変異転移性乳癌に対して、標準的化学療法と比較して有意に無増悪生存期間を延長することが示され (図2)、本邦でも2018年7月に承認されました。

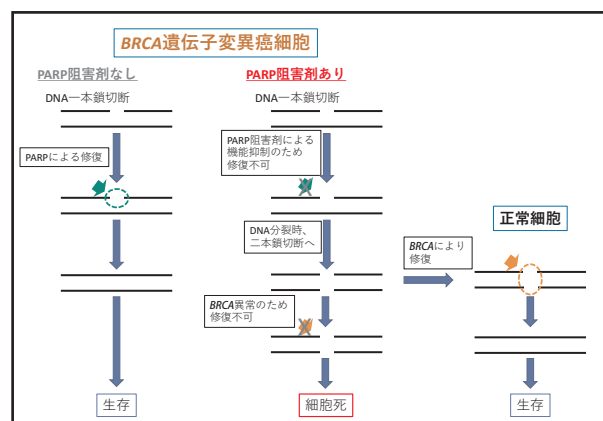
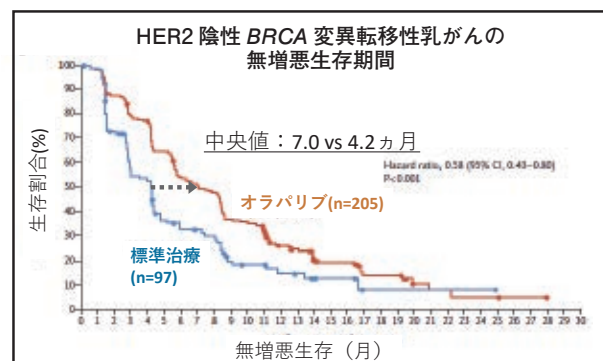


図1



Robson M, et al. N Engl J Med. 2017; 377:523-33 より一部改変

図2

4.おわりに

乳癌におけるオラパリブの適応決定には、コンパニオン診断としての *BRCA* 遺伝的検査を行うことが必要です。変異がある患者さんにとっては、PARP阻害剤という治療選択肢が広がると同時に、血縁者にも影響を及ぼす可能性があります。そのため、*BRCA* 遺伝的検査を行うためには、遺伝カウンセリング加算の施設基準に係る届出を行っている保険医療機関との連携体制を有することが必要です。また、遺伝学的検査に関する基礎知識に関して主治医も習得しておくことが求められます。

(2019年6月より、当院でも長崎大学病院との連携で、*BRCA* 遺伝検査が施行可能となりました。)

TOPICS

令和元年度 諫早医師会との連絡協議会

副院長 八橋 弘

令和元年6月6日、諫早のL&L ホテルセンリュウにて、恒例の『長崎医療センターと諫早医師会との協議会』が行われました。この協議会は、“Face to Faceで意見交換をおこないながら、より緊密で良好な医療連携を築く”という趣旨の下に、この時期に毎年開催されています。今年も、諫早医師会からは『小児の頭部外傷患者の受け入れ』と『在宅への退院時の医療連携』についてのお尋ねがあり、当院の状況について八橋、黒木臨床研究センター長、吉田統括診療部長が説明をおこないました。また当院からは八橋が『今回の多剤耐性菌感染に対する長崎医療センターの対応』について、特に当院の高度救急救命センターを閉鎖した

経緯と再開に向けての取り組みについて説明をおこなうとともに、引き続き、ご理解とご協力をいただけるようお願いを申し上げます。

諫早医師会からは山口実医師会長をはじめとする31名の先生方が、当院から江崎宏典院長をはじめとする25名の先生方が参加されました。協議会の後には、丸いテーブルをはさみ、お互い杯を傾けながら懇親を深めました。当院の現在の困難な状況に対して、多くの諫早医師会の先生方から、『頑張れ!』という暖かい言葉をいただき、とても励みになりました。有難うございます。今後とも何卒宜しくお願いいたします。



TOPICS

病院機能評価に向けてのキックオフミーティング開催

副院長 八橋 弘

令和元年5月21日、あかしやホールにて病院機能評価に向けてのキックオフミーティングを開催しました。病院機能評価は5年ごとに更新することが定まっていることから、令和2年の1月末に次回の受審を予定しています。

キックオフミーティングでは、評価機構の小松原嘉哲様に来院いただき、1.病院機能評価とは、2.病院機能評価の全体像、3.訪問審査体系、4.サポートメニューについて講演、解説いただきました。従来の審査と異なる

点は、その病棟の典型的な1症例の経過をたどりながら病院の診療状況の評価するケアプロセス(症例トレース型)調査が導入されたことです。事前に病院が指定できる症例と審査当日に指定される症例があることから、審査の為に急遽準備するのではなく、普段おこなっている診療レベルを事前に一定の水準に引き上げる必要があります。当院の診療機能を向上させる良い機会として受け止め、病院機能評価に向けて職員一同頑張ってゆきたいと思います。

第105回日本消化器病学会総会に参加して

総合診療科 専攻医 西原 敬仁

2019年4月9日～4月12日に石川県金沢市で開催されました、第105回日本消化器病学会総会に招待を頂き、キャリア支援委員会特別企画「第2回 若手優秀演題カンファレンス」へ九州代表として参加させて頂きました。この企画は昨年度からの試みであり、今年が第2回となります。日本消化器病学会の全国各支部で奨励賞を受賞した発表者が集い、支部毎に症例検討・発表を行うものです。

昨年の第1回も白熱したカンファレンスだったと聞いていましたが、実は昨年度は私の研修医時代からの先輩である阿部千鶴先生（現在総合診療科レジデント4年目）が発表者として参加し、優勝を勝ち取っていました。今年も九州支部に大きな期待がかかる中、全国の優秀な若手レジデントの活発な議論に敗れてしまい、今年の入賞はかないませんでした。しかし、まだ第2回と歴史は浅いものの全国の病院から同年代のレジデントが集うカンファレンスへの参加は貴重であり、今後の診療への

大きな刺激となりました。当施設から2年連続で当企画への参加をしており、今後も当院の後輩の先生方が続くことを切に願っております。また、今回このような貴重な経験をさせて頂きました関係の先生方に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



TOPICS

優秀演題賞受賞報告(九州外科学会)

2年次研修医 戸野本麗沙

九州外科学会にて、「診断に苦慮した腸間膜Burkittリンパ腫の1例」という演題で発表させて頂きました。腸間膜悪性リンパ腫はまれであり、特徴的な所見に乏しく、術前には膿瘍やリンパ節炎なども鑑別に挙がりました。腫瘍を切除することで診断に至り化学療法を開始することができた症例でした。発表後には違った経過を辿ったBurkittリンパ腫をご経験された先生のお話も聞くことができ、大変貴重な経験となりました。今回、このような機会を下さり、ご指導いただいた徳永先生をはじめとする外科の先生方に感謝申し上げます。



TOPICS

院内ボウリング大会

1年次研修医 品川 博光

6月29日(水)に大村Jボウルで、毎年恒例の臨床医師協議会主催のボウリング大会が開催されました。今回は令和になって初めてのボウリング大会ということもあり、総勢120名近くのスタッフの皆様にご参加いただき、例年以上に盛り上がった会となりました。参加していただいた方々にとって、他のスタッフの方々との交流を深めることができた貴重な機会になったのではないかと思います。

当日は1年次研修医が運営スタッフとして活動しており、至らない点も多々あり皆様にはご迷惑をおかけしたと思いますが、ボウリングを通して様々な方々と交流を深め、楽しんでいただけたら、運営側として大変うれしく思います。

来年度も開催予定ですので、お時間の都合がつかましたら是非ご参加ください。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



豪華景品

夏の医学生見学会のお知らせと令和2年度初期研修医採用試験のご案内



夏の医学生見学会

★交通費の助成あり★

2019/7/2 (火) ~ 2019/8/29 (木) 火曜日~木曜日のみ

*見学会内容：希望診療科見学

*夜間外来見学(22時まで・希望者のみ)

*募集定員：1日5名程度

令和2年度初期研修医採用試験

【選考日】 長崎医療センター：8/9・16・23・30

JR博多シティ会議室：8/17

独立行政法人
国立病院機構

長崎医療センター

TEL: 0957-52-3121 Email: 611-kensyu@mail.hosp.go.jp
<https://nagasaki-mc.hosp.go.jp/>

令和2年度初期研修医採用試験の受験者を下記日程で募集しております。

【選考日】

第1回： 8月9日(金)	長崎医療センター	7月29日(月)
第2回： 8月16日(金)	福岡(JR博多シティ)	8月 5日(月)
第3回： 8月17日(土)	長崎医療センター	8月 5日(月)
第4回： 8月23日(金)	長崎医療センター	8月12日(月)
第5回： 8月30日(金)	長崎医療センター	8月19日(月)

【締切日(必着)】

採用方法：公募により選考をおこなう(マッチングに参加する)。

(1) 小論文：選考日に実施、課題について800字程度を60分間で論述。

(2) 面接審査：個人面接で、ひとり20分程度の面接

※詳しくは当院HPをご覧ください。

<https://nagasaki-mc.hosp.go.jp/>

看護部だより Vol. 12

学会認定・臨床輸血看護師の資格を取得して

今年4月、長崎医療センターで初めて、2名の看護師が学会認定・臨床輸血看護師の資格を取得しました。

※学会認定・臨床輸血看護師とは

2010年より、臨床輸血に精通し安全な輸血に寄与することのできる看護師の育成を目的として、日本血液学会、日本外科学会、日本産科婦人科学会、日本麻酔科学会の協力、及び日本看護協会の推薦を得て、日本輸血・細胞治療学会により導入された認定制度です。



左：下釜さん 右：浦岡さん

看護師 下釜 絵美

外来化学療法センターで勤務をしています。このたび、4月に学会認定・臨床輸血看護師の資格を取得しました。輸血と言っても、内科・外科・危機的出血・産科・小児科・自己血輸血と内容は多岐に渡ります。私は9A病棟に9年程勤務し、育児休業を経て内科外来や治療センター、外来化学療法センターで勤務しています。年々外来では輸血療法を受ける患者さんが増えています。投与前から投与中の安全な輸血の提供と、そのための看護師の知識と技術の向上が必要であり、患者さんには帰宅後の留意すべき観察点などを指導できる立場として関わっていききたいと思います。そして、浦岡看護師と共に院内の輸血看護の現状の把握から取り組み、新人看護師や現任看護師の育成に携わりたいと思います。当院で初めて取得した資格でもあり、医師・検査科・医療安全、そして看護師の皆さんと一緒に勉強していききたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

看護師 浦岡 千晶

9A病棟で勤務をしています。輸血は臓器移植の1つと考えられており、生死に関わるような副作用が出現することがあるため、輸血に関わる医療従事者には知識と判断力が要求されます。看護師は患者さんと最も近い存在であり、輸血施行者となることも多いことから、看護師の担う役割は大きいと言えます。特に私が所属する9A病棟は造血幹細胞移植や化学療法後の血球減少により輸血の対象となる患者さんが多く、輸血件数も多いのが現状です。しかし、9A病棟の輸血教育は輸血経験の豊富な看護師による指導が主であり、経験豊富なスタッフに頼りがちになってしまうことや、輸血に関する最新のトピックスなどの情報が得られていない現状がありました。今回、資格取得に向けた学習を行う過程で自身のスキルアップだけでなく、病棟全体の医療安全面での向上や、輸血に関する患者さん・ご家族への説明の充実に繋げることが出来るのではないかと感じ、今回資格取得に至りました。今後は輸血教育に取り組むとともに、輸血に関する相談窓口となれるよう活動していききたいと思います。

地域医療連携室 からの お知らせ

てんかんオンラインセカンドオピニオン外来開設について

専門的なてんかん診療体制を確保する目的から「てんかんオンラインセカンドオピニオン外来」を開設いたしました。同外来は、「完全予約制」となっております。

“オンラインセカンドオピニオン外来”とは、パソコンやスマートフォンでのビデオ通話を利用したセカンドオピニオン外来のことを言います。患者さんがご自身で適切な医療を選択できるように、現在の主治医以外の医師の意見を聞くことです。

乳幼児から成人まで、年齢を問わずてんかんの診断・治療に関する相談に応じます。ご自身ではわからない症状や普段の生活のことなどを伺う場合がありますので、できるだけ家族の方と一緒に面談されることをお勧めします（未成年の患者の場合はご家族と同席が必要です）。かかりつけ医からの情報提供書、検査所見などの事前送付が原則必要です。面談結果についてはかかりつけ医へこちらからも情報提供いたします。

当センターは、厚生労働省・てんかん地域診療連携体制整備事業において、てんかん拠点病院に指定され、てんかんに対する包括的診療を行っており、難治性症例に対する診断や外科治療を含めた様々な治療法の提供を行っています。

担当医：てんかんセンター長 小野 智憲
（日本てんかん学会専門医・日本脳神経外科学会専門医）



詳しくは、長崎医療センター HP をご確認ください。

<https://nagasaki-mc.hosp.go.jp/>

医療センター講演・研修・テレビ出演等(7月)

(敬称略)

第39回緩和ケア研究会

開催日	時間	開催場所	内 容
7月4日(木)	18:30～20:00	人材育成センターあかしやホール	医療者のアドバンスケアプランニングに関する勉強会 『劇 そいでよか!そいがよかばい!～自分の最期は、自分で決めよう～』

がん化学療法セミナー

開催日	時間	開催場所	内 容	講 師
7月24日(木)	18:00～19:30	臨床研究センター会議室	皮膚障害のアセスメントとケア	がん化学療法看護認定看護師:村上摩利 薬剤師:大津貴寛

これらの講演は、地域の医療従事者の皆様に開放しています。詳細は病院のホームページをご参照下さい。

SENSAIごはん

ズッキーニ
チャンプルー

おなじみのチャンプルーを
ズッキーニで！
ゴーヤの苦味が苦手な方でも
美味しく食べられるよ！
他にも煮込んでカレーやスープ、
天ぷらやフライなどの
揚げ物、味噌汁の具
などにもおすすめです！



材料（2人分）

- ズッキーニ 1本
- 赤ピーマン 20g
- 木綿豆腐 1/2丁
- 豚肉 50g
- ごま油 大さじ1
- 卵 1個
- ☆醤油 大さじ1
- ☆酒 大さじ1
- ☆塩 少々

作り方

- 1 ズッキーニは5cmの長さに切り、縦4等分にする。赤ピーマンは横半分に切り、ズッキーニと同じ太さくらいに切る。
- 2 豆腐はキッチンペーパーに包み、水気をきって手でざっくりとひと口大に分ける。
- 3 豚肉は2cm長さに切る。
- 4 ズッキーニ、赤ピーマン、豆腐、豚肉をごま油で炒め、☆を入れ調味する。
- 5 溶き卵を加えて、さっと炒め合わせる。



管理栄養士 多田より



ズッキーニにはβカロテンやビタミンC、ビタミンB群、食物繊維、カリウムなどの色々な栄養素が含まれており、高血圧予防や免疫力アップ、便秘改善などの効果があるといわれています。今後の料理に取り入れ、暑い夏を乗り切りましょう。

理 念

高い水準の知識と技術を培い
さわやかな笑顔と真心で
患者さん一人一人の人格を尊重し
高度医療の提供をめざす

長崎医療センターの使命

長崎医療センターは以下の活動を誠実にを行い、地域拠点病院として住民の皆さんと医療機関からの信頼を得ることを使命としています。

- 安全で質の高い医療を提供する
- 絶対には断らない救急医療の最後の砦となる気概を持つ
- 地域の医療機関、行政と密接に連携する
- すべての医療人と学生に魅力的な教育研修を提供する
- 臨床研究を推進し、国際医療協力に貢献する